

企画展

『ミュージアムキャラバン展』

日時 2018年3月21日(水・祝)～2018年5月27日(日)

ミュージアムキャラバンとは、標本と解説がセットになったユニットを用いて、学校などを巡回することを目的に製作した移動式展示物のことです。デザインや照明に凝った展示物は、巡回先で好評を得ています。今回は、「化石の世界」「魚の世界」を展示します。



場所 企画展示室1 ※常設展観覧券でご覧いただけます。

コレクション展

『ミュージアム新収蔵品展』

日時 2018年3月21日(水・祝)～2018年5月27日(日)

ミュージアムに新たに収蔵された自然史標本(化石・昆虫・魚類等)の中から、選りすぐりの逸品を紹介します。



場所 企画展示室2 ※常設展観覧券でご覧いただけます。

ミドルヤード

『美しい鳥の羽』

日時 2018年4月28日(土)～2018年5月27日(日)

5月10日から一週間は愛鳥週間です。ミュージアムが収蔵する美しい鳥の羽根の標本や剥製、写真などで“バードウォッチング”をしましょう。



場所 講座室B 担当 NPO法人静岡県自然史博物館ネットワーク

ミュージアムでは、大人も楽しめる教養講座や子ども向けの体験講座を開催しています。本紙で紹介している以外にも沢山のイベントを用意しています。詳しくはホームページをご覧ください。

申込方法

※全てのイベント参加には、常設展観覧券の購入が必要です。  
※予約が必要な講座につきましては、ホームページ(www.fujimu100.jp)をご覧ください。

連続講座「天地に在りて、道を究める」(公財)はごろも教育研究奨励会助成事業

～いのちのいのちを結び和し、共栄共存を願うありかた～

文化・芸術・スポーツなど各界の第一人者をゲストに迎え、御自身のライフスタイルや持続可能な社会実現の鍵となる他者を慈しむ心のあり方について、お話をいただいています。聞き手は、当館の客員教授であり、歌人の田中章義氏が務めます。

日時 2018年5月13日(日)  
14:00～15:00

ゲスト 穴戸 開  
俳優・写真家

テーマ 旅の魅力



定員 100名 場所 講堂

申込方法 インターネットまたは往復はがき  
※締切日 4月20日(金) 詳細はHPをご覧ください。

GWイベント

『ミュージアム×ワードラリー』

日時 2018年4月28日(土)～2018年5月6日(日)

GW期間中、館内に写真パネルが並びます。写真パネルの名前を展示物から探してつなぎ合わせてみよう！正解したらプレゼントがもらえます。(所要時間は30分程度)



対象 どなたでも 受付 エントランス ※常設展観覧券でご参加いただけます。

2017.12.2-2018.2.25 企画展「先史時代の輝き」

静岡の各地から出土した石器や土器、人骨などの遺物計461点を一堂に集め、人と自然の関わりに着目しながら、旧石器時代と縄文時代を対比させて展示しました。関連イベントとして開催した2回の講演会では、定員を大幅に上回る、100名以上のお客様にご参加いただきました。また、日下准教授によるギャラリートークを5回実施し、各回30名ほどのお客様に展示解説を行いました。さらに、子供向けに石のペンダント作り体験を行うなど、老若男女全ての方に興味をもっていただけるイベントを企画し、図録や関連グッズの製作も行いました。



2018.2.9 ドイツデザイン賞を受賞

ドイツデザイン協会(Rat für Formgebung)が主催するドイツデザイン賞「German Design Award 2018」において、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」が“Fair and Exhibition”カテゴリーのWinnerを受賞しました。廃校舎の教室をリノベーションし、かつての机やいすを活用した知的な刺激を与える展示デザインで「思考を拓くミュージアム」を展開したことが高く評価されました。



(German Design Award 公式HPより転載)



2018.2.17 「連続講座」“天地に在りて、道を究める”【第8話】

ゲスト 竹内 隆浩 静岡済生会総合病院 血液内科部長  
テーマ 発酵するいのちに学ぶ～ところとからだ地球の健康～

最新の医療情報について、「老化防止」や「肥満」「痴呆症の抑制」など、お客様の関心を集める内容をお話しいただきました。講座内容は単にわかりやすくだけでなく、遺伝子工学の専門用語も飛び交う、専門性の高い講座となりました。



2018.2.25 「オムニバス授業」“地球環境史学”【第3回】

ゲスト 石田 秀輝 東北大学大学院名誉教授  
テーマ 自然に学ぶくらし

当館のアドバイザーでもある石田氏に、ワクワクする未来に繋がる人々のくらしのあり方についてお話しいただきました。地球環境リスクの制約を受け入れ、その中からおしゃれでカッコいいライフスタイルを見つけることが重要という言葉は、多くのお客様の心に残りました。



2018.3.1 「連続講座」“天地に在りて、道を究める”【第9話】

ゲスト 羽生 善治 将棋棋士  
テーマ コンパクトなものの魅力

将棋棋士として史上初の永世七冠及び国民栄誉賞を受賞した羽生善治氏から、「コンパクトなものの魅力」をテーマにお話しいただきました。将棋、短歌(俳句)、能といった日本文化の話題からプライベートな部分まで話題は広がり、平成29年度連続講座の最終回を飾る充実した内容となりました。



2018.3.17 「オムニバス授業」“地球環境史学”【第4回】

ゲスト 今村 文彦 東北大学災害科学国際研究所長  
テーマ 東日本大震災の教訓～災害科学国際研究所の活動から～

東日本大震災を事例として、地震、津波のメカニズムや被害についてお話しいただきました。土砂を含んだ海水、津波、火災、鉄筋コンクリートビルの倒壊など、体験者が語る被害の様子は、真に迫るものがありました。本県でも、地震は関心の高いテーマです。講演後にも、今村先生のもとには多くの質問が寄せられました。



※「連続講座」“天地に在りて、道を究める”及び「オムニバス授業」“地球環境史学”は、(公財)はごろも教育研究奨励会の助成により実施しております。